

令和5年度 学校関係者評価委員会

令和5年度 教育課程編成委員会

会議録（第2回）

出席者 8名（委員5名、職員3名）
期 日 令和6年3月8日（金曜日）
時 間 午後4時から5時10分
場 所 加治木看護専門学校 本校3階 多目的ホール

※会議資料 別添

- 1 開会のことば
- 2 学校長あいさつ
- 3 資料確認
- 4 職員 自己紹介
- 5 学校関係者委員 挨拶
- 6 協 議 委員長：校長（規程 第4条により）協議
議長選出：事前承諾により 委員1へ依頼済み

議案1 学校関係者評価委員会

①本校の現状把握＜入試状況等を校長より説明＞

委員1

社会人の入試について改善する必要がある。

委員2

一般入試も社会人入試も一次から四次まで、入試科目が同一ですが、例えば、国語が不得意だけど理科が得意な人は入試科目に理科がないと出願をためらうといったようなことがないでしょうか。多様な能力を持った学生を受け入れるという観点からしても、一次から四次までの入試で、入試科目を変えてみるといった工夫もありうるのではないのでしょうか。

【会議では発言しませんでした】受験する人が得意な科目を選択できる、という方法にしてもよいかもしれません（入試問題作成の手間が増えますが）。また、全国的な傾向と

して、入試科目を減らすという方向にあるというお話も伺いましたが（これは専門学校だけではなく、短大、大学も同じ傾向があると私も思います）、第1に、単に科目を減らすだけだと「あの学校は誰でも受かる」という評判が広がってしまう可能性があり、それは中長期的には学校にとってマイナスの影響が出る可能性があるので慎重に検討しなければならないと思います。第2に、とはいえ科目を減らすというのは入学者確保のために有力な方策なので導入してよいと思いますが、その場合には、入学後の正規の課程で学ぶに際して、欠けている学力を補充する取り組みが求められるかもしれません（入学前学習を課したり、入学決定者に学力を診断するテストを行った上でリメディアル教育を行ったりするなど）。この点、私に何かお手伝いできるようなことがあれば、お命じください。

②自己評価及び各種アンケート結果からの検証

委員1

ループリックの活用を図ることが大切。

委員2

旧カリから新カリへの移行期間ということもあり、学生のアンケート結果についても、教員のアンケート結果についても、分析がなかなか難しいと感じます。

【会議での発言に補足して】ループリックが活用されているというお話を伺いましたが、私が担当する科目では作成していなかったもので、来期に向けて作成を検討したいと思います。私の担当している科目はループリックといった形式に馴染まないかも知れませんが、仮にループリックを作成しない場合でも、学生に到達目標を明確に、かつ、繰り返し伝えるような工夫を授業で行いたいと考えます。

委員4

学生アンケートの①は、R3入学生は卒年次満足度が2年の時より上がっています。

コロナ禍を抜けて学校生活の変化などが影響しているのでしょうか。

新カリキュラムになり、学習方法や評価また、体制作りなどご苦労があることが伺えます。

前回の会議録より以下の2点に絞って委員の皆様へ（アンケート）

質問1）本校の特色「チューター制」について

委員1

今後も継続していくといい。試験の出題の仕方は工夫する必要がある。問題を回収す

るなど

委員 5

日々の関係がないのに本来の目的ではない方向になってしまったのでは。

委員 2

共に教え合っていくのが本来の姿では。

終講テストの問題作成においてもチャット GPT のような人工知能 AI を使った例もある。

委員 4

相談相手がいることは安心して学べる環境作りに大切なことだと思います。しかし、現状は関係性など複雑なことがわかりました。教えてもらうとはどういうことなのか、相手の立場を考える…など基本的な指導が必要な年ごろなのだと思います。（私も同年代の娘がいますのでよくわかります…）学生同士だけではうまくいかないところを、先生方がフォローされてどちらの成長も促されていることがわかりました。学びには“依存的”ではなく“自律的”な姿勢が大事だと思います。

質問 2) 学校満足度 に関して

委員 1

きめ細やかに生徒の意見を聞き、教育活動に活かしていこうとされていることが伝わった。

委員 4

プライベートで携帯、SNS を使いこなしているのに、今まで通りのやり方では満足できない学生が増えているのだと感じました。

教育環境についてソフト面、ハード面の見直しは、学生に選ばれる学校づくりにつながるのではと思いました。

議案2 教育課程編成委員会

①新教育課程 2年目の実施状況 説明

委員1

職員全体での共通理解が深まるといいと思います。

②課題の検証

委員3

看護職の魅力を発信していくこと

社会的に認めてほしいところが重要ではないかと思います。

学校のチーム力とか！

議案3 「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）」について

委員1

今後、募集者が増えていくことを願っています。

委員2

【会議での発言】特に社会人で入学を迷っていらっしゃる方や見学に来られた方は、試験問題の内容やそのレベル、どのぐらいの学力があれば入学が認められるのか、といった点について不安を感じていらっしゃるのではないのでしょうか。もしそういうご不安があるとすれば、そのようなご不安とご負担を解消する方策を新たに検討してもよいかもしれません。

【会議では発言しませんでした】入試の過去問などの資料は見学に来られた方にお配り申し上げているというお話を頂戴しましたが、さらに一步踏み込んで、入試のための勉強の目安となるような助言や資料（例えば、入試問題に見合った問題集を紹介したり、対策の通信指導を行うなど）を提供申し上げるといったこともできるとよいかと思えます。

校長：今後のスケジュールをご確認ください。

司会：以上で協議終了いたします。

<まとめ>

今年度 第2回目の合同会議であった。

委員の方々には、自己点検自己評価の結果をもとに、年間の活動目標の成果と、学校運営等についての改善を図るための具体的な取り組みを評価していただいた。

昨年度からの継続課題として「学校の特色とは」を継続テーマとして掲げ、学生募集やこれからのオープンキャンパス参加状況の分析を行い、昨年度との比較をすることで対策例を掘り下げていくことを期待している。また、新カリ 2 年目で新たに発生してきた課題解決に向けた取り組みや評価方法の策定も見えてきた気がする。

令和5年度の学校運営内容については、各評価項目とも大きな教育的課題の指摘は見られなかった。委員の皆様からいただいたご意見は、大変貴重なものであり、改善点や成果等を更に継続して分析し、今後の学校運営に活かしていきたいと考えます。

今回の議事録は、録音機の不具合のため、一部委員の皆様の後日アンケート形式で意見の集約を行いました。ご迷惑をお詫びしますと共に、ご協力本当にありがとうございました。